

第 7 回企画展 『登戸』 再発見 —建物と地域から追う登戸研究所—

2017 年 3 月 25 日（土）まで開催中

休館日：日曜日～火曜日、2016 年 12 月 25 日（日）～2017 年 1 月 10 日（火）、1 月 14 日（土）、3 月 18 日（土）

明治大学平和教育登戸研究所資料館では、現在『登戸』再発見 —建物と地域から追う登戸研究所—を開催中です。

学生や資料館の近所にお住まいの方にとって、生田キャンパスや小田急線登戸駅から生田駅の周辺地域は日常の一部になっているのではないのでしょうか。見慣れている景色の中には、実は登戸研究所と縁が深い場所がたくさん残っています。毎日歩いている場所で少し足を止め、周囲を見回してみる…。足元を眺めてみる…。そして過去に思いを馳せることで、見慣れた景色が少し違って見えてくる…。この企画展が登戸を「再発見」するきっかけとなることを願っております。登戸には縁がない方も、この企画展を機に紹介されている場所へ足を運んでいただき、登戸の歴史に興味を持っていただければ幸いです。（塚本記）

企画展開催にあたって館長よりご挨拶

今回の企画展では、明治大学生田キャンパスとその周辺地域に注目し、登戸研究所の諸施設の変遷と地域社会との関わりについて見つめなおします。

◎そもそも、登戸研究所は生田に位置しているのになぜ「登戸」研究所なのか。

◎現在の生田キャンパス敷地内のどこにどのような登戸研究所施設があったのか。

◎生田キャンパス周辺には、どのような登戸研究所関連施設があったのか。

これらの点について、今でも確認できる研究所の「痕跡」について明らかにします。

この企画展を通じて、私たちが普段生活している足元の歴史とかつての戦争の「痕跡」を感じていただければ幸いです。（館長 山田朗）

元登戸研究所関係者による証言会

登戸研究所研究の第一人者である渡辺賢二がインタビュー形式で、登戸研究所で働いていた方からお話を伺います。

●登壇予定者プロフィール（50 音順）

太田圓次（おおた・えんじ）氏

元第二科所属。1943 年 4 月より登戸研究所で勤務する。1944 年 2 月に千葉県一宮の海岸で行われた風船爆弾試射に参加する。

岸井三治（きしい・さんじ）氏

元第三科北方班所属。1944 年 4 月より登戸研究所で勤務する。偽札の製紙を担当した。

【その他の企画展関連イベント】

・館長による企画展展示解説 2017 年 1 月 28 日（土）・2 月 25 日（土）＊ 13 時～（所要時間 60 分）

※関連イベントへの参加方法や会場の詳細については、本誌 4 頁をご参照ください。

2017 年 3 月 11 日（土） 13:30 ～ 15:00
生田キャンパス第二校舎 A 館 4 階特殊プレゼンルームにて

申込不要
3/11(土)
13 時半～



2013 年の証言会の様子

建物から追う登戸研究所



登戸研究所跡地を明治大学が購入したのは1950年です。その後、1980年代頃までは登戸研究所の建物がキャンパス内に

多く残っていました。今回の企画展では、学内に残る旧登戸研究所施設図面や写真をふんだんに展示し、かつての登戸研究所の姿を浮かびあがらせています。また、戦前の登戸研究所とほぼ変わらない姿をうかがうことができる測量図（1948年測量）は、現存する最古のものであり、必見です。

地域から追う登戸研究所



向ヶ丘遊園駅北口（2016年資料館撮影）

生田にあるのに、なぜ「登戸」研究所なのでしょう？その謎を解くヒントが、実は向ヶ丘遊園駅にあります。

普段目にはしているこの駅舎にはどのような歴史があるのでしょうか。ぜひ注目してください。



（1947年米軍撮影、国土地理院所蔵）

1947年に米軍が撮影した左の航空写真を見ると、山林・田畑の中にいくつかの建造物を認

めることができます（写真赤枠部）。登戸研究所（写真左端赤枠部）の敷地の外にも登戸研究所関連施設が広がっていたことをご紹介します。

その他この1年間で寄贈を受けた「ビーター用キャンバス」（偽札用紙製紙時に使用）や日本電気株式会社生田研究所関連資料の展示、旧登戸研究所施設内部を紹介している映像作品など、見どころがたくさんですので、ぜひご来場ください！（塚本記）

○●○●ご意見交換ボード●○●○



新たな試みとして、11月16日より「ご意見交換ボード」を設置しました。皆さんのコメントが展示の一部になります。来館者同士をつなぎ、率直で多様な意見の交換の場となること

を目指しています。皆様のたくさんのコメントカードで、是非、盛り上げてください！（椎名記）

開催中

第7回企画展『登戸』再発見 特別プログラム

のぼりとけんきゅうしょ
登戸研究所の

史跡

探検！ラリー

明治大学生田キャンパス内に残る登戸研究所の史跡をめぐってスタンプを集めよう！

★ 4ヶ所以上集めるとオリジナルグッズ贈呈

★ 9ヶ所全部集めると認定証に特別なスタンプが押せます！！

2017年3月25日（土）まで

●スタンプシート無料配布中

資料館受付・生田キャンパス守衛所（正門・中央校舎・登校路門）で受け取れます。

* 資料館 web サイトから印刷も可能です。

グッズの交換と認定証発行は資料館開館日時のみ受け付けます（開館日時は4頁参照）。

その他の企画展関連イベント（展示解説・証言会）は4頁をご覧ください。

シリーズ Q&A

第十回 どこまでが登戸研究所の敷地？

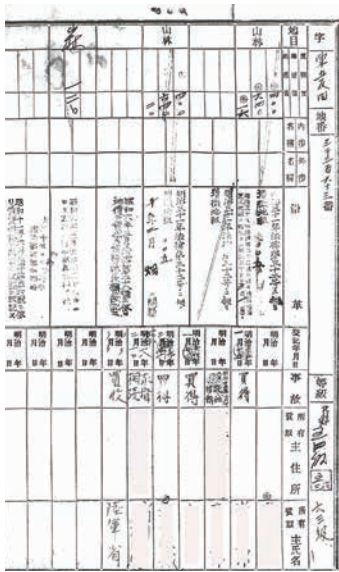


図1「土地台帳」
* 個人情報は加工してあります。
(横浜地方務局麻生出張所所蔵)



図2 現在の地域産学連携センター周辺。この一帯も登戸研究所の敷地だった。(2016年撮影)

現在開催中の企画展でも取り上げている今回のテーマ。登戸研究所の敷地はどこまで広がっていたのかを今回は調査しました。調査に向かったのは横浜地方務局麻生出張所。ここには古い土地台帳や公図が保管されており、これらを調べたところ、図3で示している範囲が登戸研究所の敷地だったと判明しました。

1942年に陸軍は、現・地域産学連携センターの向かい（卓球場・アパートがある一帯）や踏切を渡った先の買収を進めており、今まで当館で

想定していた範囲よりも、さらに北側まで敷地が広がっていたことが分かりました。その目的は、津久井道へ繋げるためでした。

また、1942年に第四科を創設した後、現・生田中学校～明治大学プールがある谷一帯を同年末～翌年夏にかけて買収を進めていたことも今回の調査で分かりました。しかし、敷地南側と東側については未確定部が多いため、今後も調査を続けていき、ご報告できるように努めてまいります。
(塚本記)

© OpenStreetMap contributors (openstreetmap.org)



図3 今回の調査で判明した登戸研究所敷地のおおよその範囲（赤）。青部は今回の調査で確定できていない箇所。

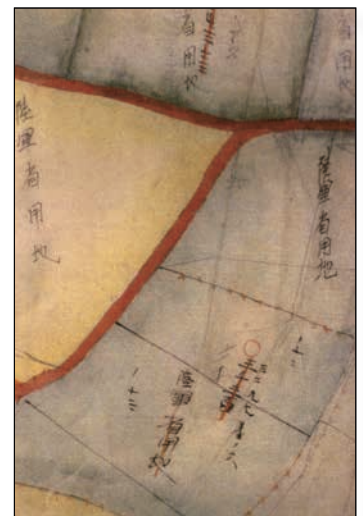


図4 陸軍省用地を示す旧公図。
場所は現・生田中学校。
(横浜地方務局麻生出張所所蔵)

お勧めの一冊！

長野県における登戸研究所研究の第一人者

木下 健蔵 氏の最新刊

「日本の謀略機関 陸軍登戸研究所」

1980年代末から、長野県駒ヶ根市に疎開した登戸研究所を高校生達と共に調査をした木下健蔵氏（元高校教諭）による、研究の集大成ともいえる必読書。元

所員・関係者と人間関係を構築してからの聞き取り調査や緻密な文献調査により、長野県での登戸研究所の実態や、当時の陸軍内部関連セクション（生物戦部隊など）との関係も含めて体系的に解き明かします。（文芸社刊 / 文庫、約450頁 / 定価900円＋税。）

★★★★来館者が50,000人突破!!★★★★

2016年5月21日、開館時からの来館者数が50,000名を達成しました。記念すべき50,000人目となったのは東急バス労働組合の皆様。めいじろうもサプライズでお祝いに駆けつけ、セレモニーは大変盛り上がりしました。（椎名記）



東急バス労働組合の皆様とめいじろう



資料館からのお知らせ

第7回企画展

『『登戸』再発見 -建物と地域から追う登戸研究所-』関連イベント

◆館長による企画展展示解説

事前予約制・各回定員 20 名・参加費無料

2017 年 1 月 28 日 (土) 13 時 -14 時

2017 年 2 月 25 日 (土) 13 時 -14 時

◎事前予約制です。下記の電話、FAX、Eメール(本文にアドレス明記)のいずれかでお申込みください。申込時に希望日・お名前・人数・連絡先(携帯電話番号等)をお知らせください。

◆証言会 (1 頁参照)

申込不要・定員 126 名(当日先着順)・参加費無料

登戸研究所で実際に勤務していた方をお招きして、当時のお話などを伺います。

日時: 2017 年 3 月 11 日 (土)

13:30 ~ 15:00 ※開場 13:00

会場: 生田キャンパス第二校舎 A 館 4 階

特殊プレゼンルーム (A416・A417 教室)

★登戸研究所の史跡をめぐるスタンプラリーも開催中!! (2 頁参照)

●見学会 (2017 年 1 月 ~ 3 月)

事前予約制・各回定員 25 名・参加費無料・所要約 2 時間半(途中退出可)

1 月 21 日 (土) 13 時 山田朗

2 月 4 日 (土) 13 時 渡辺賢二

2 月 25 日 (土) 10 時 * 山田朗

3 月 4 日 (土) 13 時 山田朗

3 月 25 日 (土) 13 時 渡辺賢二

生田キャンパス中央校舎 1 階ロビー集合

生田キャンパス内の史跡と資料館の展示を解説つきでご案内します。解説は館長 山田朗または登戸研究所研究の第一人者・渡辺賢二です。

事前予約制です。参加ご希望の方は電話、FAX、Eメール(本文にアドレスを明記)のいずれかでお申し込みください。申込時に希望日・お名前・人数・連絡先(携帯電話番号等)をお知らせください。

*2/25のみ10時集合になりますのでご注意ください。同日13時から企画展展示解説会を開催しますので併せてお申し込みください(上記関連イベント参照)。

*10名以上の団体でお申込みの場合はご相談ください。

2017 年 1 月 14 日現在の累計来館者数は 54,879 名です

●資料館開館スケジュール

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日 10 ~ 16 時

【臨時閉館】

1 月 14 日 (土) センター入試のため

3 月 18 日 (土) メンテナンスのため

編集・発行: 明治大学平和教育登戸研究所資料館

発行日: 2017 年 1 月 1 8 日

〒 214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1

明治大学生田キャンパス

TEL/FAX: 044-934-7993

E-mail: noborito@mics.meiji.ac.jp

URL: <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

twitter  https://twitter.com/meiji_noborito

facebook  <https://www.facebook.com/Noboritoshiryoukan>

《利用案内》

開館日: 水曜日 ~ 土曜日 (日・月・火 休館)

開館時間: 午前 10 時 ~ 午後 4 時

入館料: 無料

臨時閉館日: 1/14 (土)・3/18 (土)

●10名以上の団体見学は1か月前までに電話またはメールにてご予約をお願いします。団体で日曜日に見学希望の場合は事前にご相談ください。

●ゼミ・クラス・クラブ単位での団体見学も承っております。平和教育・歴史教育・科学教育の一助としてぜひご利用ください。